

東京都立松が谷高等学校 令和4年度 年間授業計画

教科:(英語)科目:(コミュニケーション英語Ⅲ) 対象:(第3学年1組～8組)

使用教科書:「Compass CommunicationⅢ」(増進堂)

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	学習 時数
4月	Skill 1～5	<ul style="list-style-type: none"> 意味のまとまりごとに、英語の語順にしたがって、意味をつかんでいく。 代名詞・言い換えに注意して、英文の内容を正確に理解する。 文を修飾する表現に注意して、文全体で表される事柄(状況、事態、筆者や話者の意図など)を読みとる。 文と文(またはパラグラフとパラグラフ)における意味上のつながりを明らかにする表現に注意して、文章の概要や要点を把握する。 単語の形や文脈を手掛かりにして、未知語のいみを推測しながら、文章を理解する。 	ワークブックなどの提出物および定期考査	8
5月	Skill 6～10	<ul style="list-style-type: none"> 英語による指示や言い換えられた文章を聞いて理解することができる。 ディスコースマーカーを意識して英文を読むことができる。 幅広い話題(例えば異文化理解、環境問題など)についての文章を読み取るための語句や、文法事項を理解する。 単語の発音に気を付けながら、リズムやイントネーションを意識して、十分な声の大きさ、適切な速度で話すことができる。 	ワークブックなどの提出物および定期考査	9
	Chapter 1	<ul style="list-style-type: none"> リズムやイントネーションなどに表れる話し手の意図や気持ちをとらえ、音のつながりや欠落に注意して的確に聞くことができる。 教科書の文章の単語の発音及び文章のリズムやイントネーションに気を付けて、聞き手に伝わるように明瞭に音読することができる。 単語の発音に気を付けながら、リズムやイントネーションを意識して、十分な声の大きさ、適切な速度で話すことができる。 うまく表現できないことがあっても、既習の語句や表現を用いて書くことができる。 	ワークブックなどの提出物および定期考査	3
6月	Chapter 2	<ul style="list-style-type: none"> リズムやイントネーションなどに表れる話し手の意図や気持ちをとらえ、音のつながりや欠落に注意して的確に聞くことができる。 教科書の文章の単語の発音及び文章のリズムやイントネーションに気を付けて、聞き手に伝わるように明瞭に音読することができる。 単語の発音に気を付けながら、リズムやイントネーションを意識して、十分な声の大きさ、適切な速度で話すことができる。 うまく表現できないことがあっても、既習の語句や表現を用いて書くことができる。 	ワークブックなどの提出物および定期考査	6
	Chapter 3	<ul style="list-style-type: none"> 場面や状況、相手の表情などを踏まえて、話し手の意図を把握し、質問や指示などに適切に応じることができる。 英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「読むこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解する。 教科書で扱った身近な話題や自分の興味、関心があることについて、既習の語句や表現を活用して、ワークシートやメモなどを利用しながら、英語で相手に伝えることができる。 既習の語句や表現、文法事項を活用して英文を書くことができる。 	ワークブックなどの提出物および定期考査	6
7月	Chapter 4	<ul style="list-style-type: none"> 場面や状況、相手の表情などを踏まえて、話し手の意図を把握し、質問や指示などに適切に応じることができる。 英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「読むこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解する。 教科書で扱った身近な話題や自分の興味、関心があることについて、既習の語句や表現を活用して、ワークシートやメモなどを利用しながら、英語で相手に伝えることができる。 既習の語句や表現、文法事項を活用して英文を書くことができる。 	ワークブックなどの提出物および定期考査	6
8月				
9月	Chapter 5 Chapter 6	<ul style="list-style-type: none"> 対話文や物語、エッセイなどさまざまなジャンルの英文を、聞き取れない語や未知語があっても内容を推測しながら聞き続け概要を把握することができる。 800～1000語程度の文章を読んで、概要や要点をとらえることができる。 教科書で扱った身近な話題や自分の興味、関心があることについて、既習の語句や表現を活用して、ワークシートやメモなどを利用しながら、英語で相手に伝えることができる。 	ワークブックなどの提出物および定期考査	12

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
10 月	Chapter 7 Chapter 8 Chapter 9	<ul style="list-style-type: none"> 対話文や物語、エッセイなどさまざまなジャンルの英文を、聞き取れない語や未知語があっても内容を推測しながら聞き続け概要を把握することができる。 英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「読むこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解する。 800～1000語程度の文章の概要や内容を理解した後に、英語の質問を聞いて、英語で答えることができる。 教科書の文章や聞いたり読んだりした内容に基づいて、自分の意見や感想150語程度の文章にまとめることができる。(普通科) 教科書の文章や聞いたり読んだりした内容に基づいて、自分の意見や感想を150～200語程度の文章にまとめることができる。(外国語コース) 	ワークブックなどの提出物および定期考査	12
11 月	Chapter 10 Chapter 11 Chapter 12	<ul style="list-style-type: none"> 対話文や物語、エッセイなどさまざまなジャンルの英文を、聞き取れない語や未知語があっても内容を推測しながら聞き続け概要を把握することができる。 教科書の文章を読んで、文中に未知の語句があっても、前後関係や文脈を考えて、推測しながら読み続けることができる。 ペアで、幅広い話題について、学んだことや経験したことに基づき、対話をすることができる。 教科書の文章や聞いたり読んだりした内容に基づいて、自分の意見や感想を150語程度の文章にまとめることができる。(普通科) 教科書の文章や聞いたり読んだりした内容に基づいて、自分の意見や感想を150～200語程度の文章にまとめることができる。(外国語コース) 	ワークブックなどの提出物および定期考査	12
12 月	Chapter 13 Supplementary Reading	<ul style="list-style-type: none"> 対話文や物語、エッセイなどさまざまなジャンルの英文を、聞き取れない語や未知語があっても内容を推測しながら聞き続け概要を把握することができる。 1200～1500語程度の文章を読んで、概要や要点をとらえることができる。 	ワークブックなどの提出物および定期考査	6
1 月	Supplementary Reading	<ul style="list-style-type: none"> 対話文や物語、エッセイなどさまざまなジャンルの英文を、聞き取れない語や未知語があっても内容を推測しながら聞き続け概要を把握することができる。 1200～1500語程度の文章を読んで、概要や要点をとらえることができる。 	ワークブックなどの提出物および定期考査	4
2 月				
3 月				